

代表質問

高島新政クラブ

海東市政の
今後の
課題について



渡邊近治 議員

問 市長の所信表明が
54点を質問する

概ね1年間は、助役・収入役を置かないとのことであるが、新市発足時こそ、市長のサポーターとして、また職員・市民のパイプ役として設置の必要性があるのではないか。

答 市長

助役の必要性は安心・安全の面から十分認識しており、適任者の人選に努力します。収入役は、財政の厳しい折、電算システムの導入で事務処理能力も向上しており、助役に兼掌させます。

問 新庁舎建設に前向きな考えであるが、6月補正で、調査



費を計上するのか。住民同意とは議会の同意なのか。

答 市長

合併合意を尊重し、企画部局において調査・計画等の事前準備を進め、人員削減計画と建設計画を精査・検討し、最も効率的な方

策を広く住民に示し、最終的に議会の同意を得ます。

問 高島病院の建て替え事業とともに経営改善や医療サービス向上を検討する組織の立ち上げと検討スケジュールについて問う。

答 市長

旧6町村長による覚書に基づき、「高島市地域医療整備検討委員会」の立ち上げを進めており、決定次第、公立高島総合病院の基本的な方向付けを検討してまいります。

問 財政非常事態宣言をされたが、どのような財政状況をもって非常事態と言われるのか。また、危機的状態の打開に向けた住民理解の求め方について問う。

答 市長

厳しい財政状況下での合併であり、国の進める三位一体改革等で、増収が見込めない

中、当初予算も多額の基金の取りくずしで対応しており、経常的な財源に余裕のない状況であります。財政の体質改善を始め、広報で市の財政状況を示し住民理解を求めます。

問 支所機能の充実について

支所は本庁の指揮の下で動いている。支所長は副市長として頑張りたいとの発言もあったが、支所に一定の予算を配分し、権限と責任を与え、地域性を活かした取り組みが必要と思うがどうか。

答 市長

職員間の人事交流を深め、職員のやる気を引き出す配慮について問う。
地域の問題は地域で解決するという基本原則のもと、各支所へ相応の権限と財源移譲による高島版・地域自治

問 今後の教育について

本市の子ども達は素晴らしい環境の中で育まれてきた。近年、欲しいものは十分に与えられ、自らの行動力が不足し、また一番大切な人を思いやる心もだんだん失われているように危惧する。今後どのような教育行政を展開されるのか問う。

答 市長

市内には子どもを育てる知恵と情熱を持つ多くの組織と人材があり、これら市民の協力のもと、地域の子どもは地域で育てる組織体制を確立し、青少年の健全育成に尽くします。